第１学年　音楽科学習指導案（令和２年９月２８・２９日・１０月５日：名寄市立風連中学校）

授業プラン　　　：芳賀均

授業者：芳賀均・大野紗依

研究の意図・目的　　音楽科における知識の位置づけを考える

１　題材名

音楽における「川」の表現に挑む

２　題材の目標（評価規準）

○音楽における「川」の表現方法について試行錯誤しながら検討することができる

・表現方法の違いを聴き分けることができる（技）

・表現方法について他者との意見交換を踏まえて理解する（知）

・表現方法を考え、選択することができる（思）

・音楽における「川」の表現方法について検討する活動に意欲的に取り組むことができる（態）

３　展開

|  |  |
| --- | --- |
| ①様々な表現方法について検討し、言語化する②「川」の音楽を構想する③『ブルタバ（モルダウ）』の表現方法について検討する④『ブルタバ（モルダウ）』を味わう | ・教師がキーボードで演奏する様々なアレンジによる『川はよんでる』について、知覚・感受したことを出し合う・〔共通事項〕については特に遺漏なく取り扱うように留意・言語化した表現方法がある程度蓄積できたら、生徒にサンプルの情景を示し、表現方法を提案させ、生徒の意見を反映させた演奏を行う・『ブルタバ（モルダウ）』の構成と同じ情景等を記したワークシートを使用する・一場面を選択し、〔共通事項〕の選択や、具体的な演奏方法等について個人作業でなく学級全体で意見を出し合う・各班に一場面ずつ割り当てて、各班で表現方法を考える・ワークシートの順に、言葉による説明や教師への演奏依頼、楽器等の任意の方法で「川」の音楽を表現する・６つの部分に分割した音源をランダムに提示し、ワークシート上のどの部分を表現したものか、①で蓄積した言語化した表現方法と照合しながら考える・意見が分かれた場合は、表現方法に関する知識がまだ不足している可能性があることを意識させる・その際、適宜スコアも参照する・各自の「好きな部分」あるいは「グッとくる部分」を決め、理由をワークシートに書き留める（＝思い入れ部分）・生徒の挙手によって思い入れ部分を把握して、板書（ワークシートの拡大）に表示し、理由を発表させる・部分ではなく一曲通した構成等についての意見でもよい・一曲通して鑑賞する・タイトルと作曲者を伝え、簡単に楽曲の解説をする・『ブルタバ（モルダウ）』について感想文（可能であれば批評分）あるいはポスターをかく |